命を救ってくださった島のみなさんへの恩返し私の議員活動の原点です

あおぬま 進二

青沼しんじ

日本共産党
村議会議員

島にきて間もない頃、港で働いていた私は、ミキサー車ともども落ち、流れ出した生コンのなかに生き埋めになるという事故にあいました。危うく命を落とすところだった私を救ってくれたのは、村のみなさんでした。

「村の人たちに命を救っていただいたおかげで、今日の私がある」――そのことを一日も忘れたことはありません。

議員になる話があったとき、「私にはとても」と思いましたが、「島のみなさんへの恩返しができるなら」と決意して、今日に至っています。

これからも、その初心を貫いて、みなさんの暮らしを守るため、私は全力でがんばります。

島のひろば
日本共産党新島支部・式根島支部は、青沼しんじ議員の政策と活動について発表しました。
2015年1月号外　発行／日本共産党新島支部・式根島支部

介護や子育ての苦労を知る人だから、みなさんの声を誠実にうけとめ、ねがい実現にとりくみます

式根島の介護施設は住民のねがいに応えるものに

念願の介護施設がいよいよ実現しようとしています。村長の諮問にたいする検討委員会の答申も出されました。短期日の宿泊（ショートステイ）も含む、住民のねがいに応える介護施設の実現めざしてがんばります。

医療費無料の対象を高校生までに

昨年末の議会でも要求しました。

村長は、財政上の問題などをあげ、現時点では考えていないと答弁しましたが、年間150 万円ほどの予算があれば実現は可能なはずです。中学3年生までの医療費無料化を実現したときと同じように、他の議員にも働きかけていきます。

若郷のジェットフォイル乗り場の改善を

式根島の乗り場には簡易な雨よけが設けられています。

乗船客に不便な状況を改善するために、ひきつづき東京都などにも働きかけていきます。

ガソリン代助成の継続・拡大を

略歴

1948年生まれ、66歳。豊島実業高校卒。73年から式根島に住む。貨物船・茂平丸に5年働き、その後、自動車整備士として勤務をへて民宿経営。03年に村議初当選、現在3期目。村農業委員。

青沼しんじさんに期待します

式根島に住んで6年になりました。私たち家族にとって、いつも身近で相談相手になっていただき、住宅の玄関先まで雨水が上がってきた時も、心配してすぐに飛んできてくれました。いまは水害も無くなりました。

物静かで控えめなしんじさんですが、熱心に真面目に医療や介護の問題に取り組む誠実な姿に、いつも励まされてきました。

弱い立場の人たちの身になって住民の声を議会に届けてくれる、かけがえのない、なくてはならない人です。

綾 たつ子（式根島）

お困りのこと、村政への意見・要望など、お寄せください　TEL 7−0163　FAX 7−0827

だれもが安心してくらせる島にするために なくてはならない議員　青沼しんじさん

3期12年 みなさんと力あわせ 村政を動かしてきました

東京一高かった がん検診料の引き下げを実現

2009年12月の議会で、「日本一健康な島をめざして」いる新島村のがん検診料が東京でいちばん高いことを指摘。乳がんは5000円を1000円に、子宮がんは3000円を1000円になど、検診料を大幅に引き下げさせました。

中学3年生までの医療費を無料化

2007年の村議選で、しんじ議員が公約にかかげた中学3年生までの医療費完全無料化は、同僚議員のあいだにも賛同が大きくひろがり、一気に実現。この流れは、東京都の助成制度につながり、都内各地にひろがりました。

住宅用火災警報器の全世帯配布

消防法により全住宅に設置が義務付けられた住宅用火災警報器ですが、新島村では2009年3月議会でのしんじ議員の質問をきっかけに、村による全世帯への配布・とりつけが実現しました。

小中学校へのクーラー設置も

2010年の12月議会で、小中学校へのクーラー設置をもとめ、当時の村長から「基本的には実施する方向で考えている」との答弁をひきだしました。その後、工事がおこなわれ、現在では全校に設置されています。

「共産党はなんでも反対」は誤解です

国保料や介護保険料の値上げなど、村民のくらしに深刻な影響を与える問題では反対を貫いていますが、村議会ではほとんどの議案に賛成し、多くの問題で積極的提案をおこない、他の議員とも共同し、村民のねがい実現のために努力しています。

くらしをおびやかす悪政には毅然とたちむかいます

村民のくらし、島の将来が、国の悪政によっておびやかされています。消費税の増税は「社会保障のため」だったはずなのに、年金は引き下げられ、保険料などの負担は増大、このままでは私たちのくらしも商売も壊されてしまいます。

島の人々のくらしを守るためには、悪政にたちむかう確固たる立場が必要です。安倍政権の暴走と真正面から対決する日本共産党のしんじ議員こそ、いま、なくてはならない存在なのではないでしょうか。

みなさんの声うけとめ 島の発展に全力

村政の主人公は住民です。そして、住民のねがいを村政にとどけ、実現していくことこそ議員の仕事です。だから、しんじ議員は、みなさんの声を大切に、そのねがいを実現するために、誠実にとりくみます。

もちろん、さしあたって意見の分かれる問題もあります。しかし、しんじ議員は「島の発展をねがう気持ちは同じ」と、ねばり強く訴えつづけ、ひとつでも多くのねがいが実現するよう、他の議員とも力をあわせ、奮闘していきます。

東京都の担当課長らに現状を説明する青沼しんじ村議。隣にいるのは清水ひで子・党都議団政調会長

1月21日に、しんじ議員は都庁で舛添要一知事あての要望書を提出しました。東京都港湾局離島港湾部、福祉保健局保健政策部、同高齢社会対策部の課長らが応対し、しんじ議員の説明を受けました。

しんじ議員は、若郷のジェットフォイル専用桟橋の問題や、1リットル 200 円にもなるガソリン代の助成、式根島への介護福祉施設の建設、野伏港の静穏化などについて、「島民の切なるねがいを真摯に受けとめてほしい」と訴えました。

くらしも島の経済もこわす 消費税10%への増税は中止を

8%への増税は消費を大きく冷え込ませました。これでは観光客も増えるわけがありません。安倍首相が 2 年後に「断行」すると言っている10%への増税実施をなんとしても中止に追い込みましょう。

力をあわせ安倍政権の暴走ストップ

参議院議員
党副委員長
小池 晃

夏休みの家族旅行で訪れた式根島で、しんじさんにお会いしました。誠実な人柄、島のみなさんのくらしを守るために一生懸命働いている姿に感動しました。

日本共産党は、都議選・参院選につづき、総選挙でも躍進し、安倍政権の暴走に立ち向かう大きな力をいただきました。青沼しんじさんと力をあわせて、私たちも国会で全力でがんばります。